

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	金融情報システム		
英文授業科目名	Financial Information System		
開講年度	2004年度	開講年次	3年次
開講学期	6学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門共通科目-選択科目		
開講学科・専攻	システム工学科		
担当教官名	宮崎 浩一		
居室	西5-503		

公開E-Mail	授業関連Webページ
miyazaki@se.uec.ac.jp	

<p>【主題および達成目標】</p> <p>(a)主題 (1)コーポレートファイナンス理論と投資理論の全体像を知ると共に、その基礎となる考え方を理解する。 (2)金融市場がどのような理由でどのように動いていくのかを市場予測を行なうことで体得する。 (3)日本経済新聞の内容が理解できる程度の金融経済用語を習得する。</p> <p>(b)達成目標： (1)企業活動と財務政策を理解する。 (2)NPVに基づきプロジェクトの選択ができる。 (3)最適ポートフォリオを導出して有効的フロンティアを描くことができる。 (4)資本資産評価モデル(CAPM)を理解して利用できる。 (5)WACCに基づいて資本コストの算出ができる。 (6)負債の評価ができ、金利期間構造の概念を説明できる。 (7)株式投資者と債権者間での利益相反と財務制限条項の概念を説明できる。 (8)オプションの満期価値を描くことができる。 (9)二項モデルを用いたリスク中立評価法を説明できる。 (10)ブラック・ショールズ公式の意味を理解して利用できる。</p>

<p>【前もって履修しておくべき科目】</p> <p>なし</p>
--

電気通信大学 平成16年度シラバス

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

オペレーションズ・リサーチA, オペレーションズ・リサーチB

【教科書等】

新井富雄、渡辺茂、太田智之 共著、
資本市場とコーポレートファイナンス 中央経済社

【授業内容とその進め方】

第一回	企業活動と財務政策
第二回	財務政策決定の規範
第三回	多期間キャッシュフローの評価とNPV
第四回	最適ポートフォリオと有効的フロンティア
第五回	資本資産評価モデル(CAPM)
第六回	資本コストの基礎概念
第七回	WACC
第八回	負債の評価
第九回	資金調達と格付
第十回	オプション理論その1
第十一回	オプション理論その2
第十二回以降	過去の卒業研究で行なわれたファイナンスモデルの紹介

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a)評価方法：

出席点： 一回2点
市場予測： 的確な予想2点
金融経済書の評論：満点40点
期末試験： 満点40点
上記の合計点で決める。

(b)評価基準：

達成目標に記した事項をある程度理解したといえる水準、
上記試験の合計点が60点以上であること。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【オフィスアワー：授業相談】

金曜日：16:00-18:00

【学生へのメッセージ】

実際に世の中で経営経済がどのように動いているかを
日経新聞から学ぶと共に、それらを説明する基礎的な事項
や概念を学ぼう。

【その他】